

26.CPC(臨床病理検討会)の検討症例率

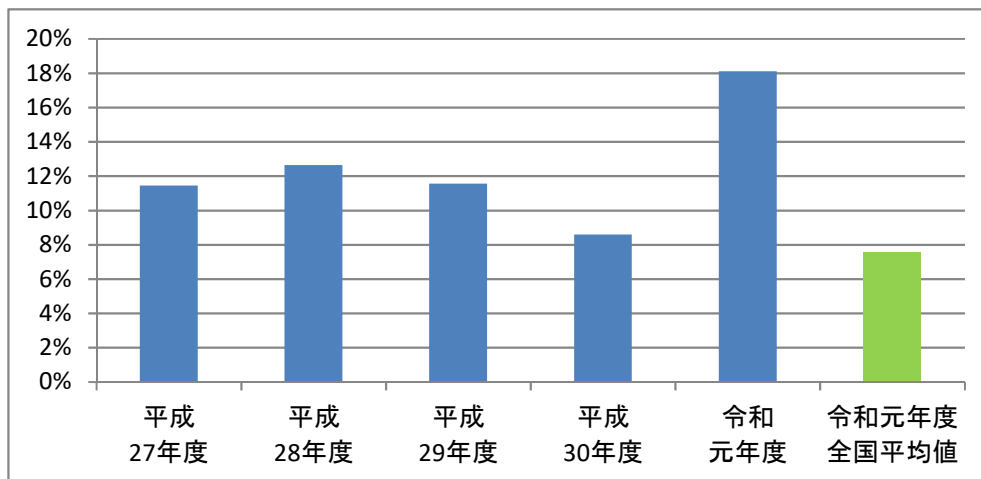
項目の解説

CPC(臨床病理検討会)とは、臨床医・病理医などが、治療中に院内で死亡し病理解剖が行われた症例について診断や治療の妥当性を検証する症例検討会で、診療行為を見直すことで得られた知見を、今後の治療に役立てるために行われます。医学生、研修生の教育にも寄与するもので、その取り組みの状況を表現する指標です。

当院では毎年約100例(学外からの依頼症例を含む)の病理解剖が行われ、その全例に対してCPCを行っております。これにより、医療の質の向上に貢献しています。

当院の実績

平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和元年度 全国平均値
11.45%	12.64%	11.55%	8.60%	18.10%	7.58%



全国平均値は国立大学附属病院の平均値です。

定義

各年度1年間のCPC(臨床病理検討会)のCPC件数を死亡者患者数で除した割合(%)です。自院での死亡退院を対象とします。

ただし、学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例は検討症例数に含めます。

